

世界の恵まれない子供達に学ぶ機会を！学ぶ喜びを！

SCOLA

Vol 18

認定NPO法人

LSスコラ育英基金

〒156-0055 東京都世田谷区船橋1-28-13-101

☎:090-5411-8424

メール：scola@ls-scola.jp ホームページ <https://ls-scola.jp/>
郵便振込00100-0-767496 特定非営利活動法人LSスコラ育英基金

〈新たな年の祈り〉

新しい年、2026年を迎えました。昨年は、米大統領のディール外交に翻弄された一年でした。自国第一主義、商業主義的なディールにより、世界は分断と憎悪の連鎖の中にあります。パレスチナとイスラエルの停戦は一見成立したように見えますが、恒久的な平和・国家の形・戦後復興は道半ばですし、ウクライナとロシアの戦争に至っては停戦実現の目途さえ立たない状況が続いております。さらに、新年はアメリカがベネズエラ大統領を逮捕し、自国裁判所で裁かんとする異例の事態で幕を開けました。

皆様は新年を迎え、ご自身や家族の健康・子や孫の成長・地域や社会の安心安全・世界平和など様々に願い祈ったことでしょうか。破壊や飢餓で苦しむ弱い立場の人たちに真の平安が訪れますように共に祈りましょう。

さて、LSスコラ育英基金のこの一年を振り返って見ますと、支援する方々の高齢化が進む中であっても、年間145名の方々からご寄付をいただき、予定された支援案件は全て計画通り実施することが出来ました。ご支援をいただきました皆様方には、厚く御礼申し上げます。本年6月には役員の改選期を迎えます。また、12月には認定NPO法人として5年間の「認定」期間が満了することから、引続き「認定」認証を取得できるよう、新たに選ばれた役員の下、準備してまいりますので、皆様方のご支援を是非ともよろしくお願い申し上げます。



ケニア・カレメノ校の生徒達

SCOLA前号で提起しましたように、寄付されている方々の高齢化・若年層支援者の不足・役員の高齢化と後継者不在が深刻さを増しており、このままでは早晚当基金の継続は難しくなり、最悪「解散」も視野に入れなければならない事態は続いておりますが、改めて、皆様と共に支援の輪を広げていくために、基金の継続を「新たな年の祈り」として、この一年歩んで参りたいと決意を新たにしているところであります。

(理事長 宇野哲人)

<令和7年度に実施した支援事業>

1. 仙台ラ・サール・ホーム出身者の大学等進学者に対する奨学金

- ・ 継続事業として、学生3名に対し、上期18万円・下期18万円（各期6万円/人）の奨学金を支給済みです。
- ・ 奨学生Aさん、Bさんからの便りを紹介します。
 - ー 無事に就職の内定を貰えて、内定式に出席できました！ありがとうございます。（Aさん）
 - ー 基金の支援をいただきありがとうございます。大学2年生の後期ともなると、学校や日々の生活に慣れてきた一方で、専門科目も本格的に始まります。そのため、より一層気を引き締めて励みたいと思います。（Bさん）

2. ケニア聖ラ・サール・カレメノ校に対する支援

- ・ ケニアの農業地帯にある4年制の職業訓練校カレメノ・スクールに対して、前年度は、農業用機材購入資金として1万ドルを支援しましたが、今年度は、コンピューターへの電力供給用ソーラーシステム設備資金として1万ドルを5月末に支援しました（約145万円）。



3. カンボジアのラ・サール・プートゥム・スクールに対する支援

- ・ プノンペン近くにある学校に通うベトナム出身生徒60人に対し、1人あたり1回70円程度の食事代を支援しました（総額1万800ドル＝約157万円）。この子どもたちは1970年代に戦争から逃れたベトナム難民の子孫で、無国籍の不法移民の扱いを受け、貧しい生活を強いられています。僅かな食事代ですが、子どもたちの健康と福祉をサポートし、出席率を向上させることで、彼らに貧困と疎外のサイクルを断ち切る力を与える一助となることを期待したいと思います。



なお、今年度実施予定だった「ふじのくに留学生ツアー」は、主催者側の事情で2026年度以降に延期するとの連絡がありました。

【支援して下さった会員からのメッセージ紹介】

大尾敏博様（LS函6期）

スコラについては以前から名称は聞いておりました。

ただ、詳細はよく知らずにいたのですが、教育環境が整わない海外で恵まれない子供たちのために手を差し伸べて活動していることを高校の同期生から聞き、感銘しました。

実は私は千葉県の児童養護施設と縁があり、自分の目標を目指して勉学に励んでいる子供がたくさんいることを知らされ、そんな子供たちを少しでも支援できたらと思い、毎年寄付を続けております。

子供の可能性は国境を超えるものだと思います。海外のもっと教育の機会に恵まれていない子供にも手を指し伸ばし、子供の笑顔が広がっていくことに私も多少でもお手伝い出来ればと思い、サポーターとなりました。

当然活動予算が厳しく、制約もあるでしょうが、個人的には年に1度、成績優良な子供に勉学だけでなく、外国を知る機会を与えられないかと思います。僅かな期間でも身をもって知ることはその子の一生を左右する貴重な経験となることでしょう。

長縄美樹様（JICA研修コーディネーター、スコラニュースナレーター）

交通政策分野での国際協力の仕事をスコラ事務局の黒木秀敏さんと数年間ご一緒した縁で、今回のナレーションにお声がけいただきました。

LSスコラ育英基金が、発展途上国のみならず日本においても、教育という子供の未来に直結する分野で地に足の着いた活動を続けておられることに深く共感しております。

私と基金をつないでくださった黒木さんは、昨年天国に行ってしまわれましたが、黒木さんの志と頂いたご縁を大切に、また、基金がこれからも多くの子供たちに未来を照らし続けることを願いつつ、陰ながら活動を応援していきたいと思います。



ローマのラ・サール本部にも機関紙「SCOLA」を送っていますが、受け取った時の写真が送られて来ました。

2025年（1－12月）に寄付してくださったのは以下の方々でした（敬称略）

浅野良二	穴澤龍治	有村正意	伊井和枝	池田博行	池田隆二郎	伊佐治寿彦
伊地知正光	伊東祐久	井上功	岩元修士	内田正隆	宇野哲人	海川敏雄
梅北正史	江口憲治	大川伸一	大坂恒悦	大原信司	岡田利雄	小田紘史
小田原良治	海江田博士	笠松秀樹	加藤英行	金沢千秋	金蔵拓郎	金子賢一
金丸秀樹	賀本敏行	川井田浩	川上博人	川原光徳	神原芳彦	菊地裕太郎
北川朗	北本達也	木下敏之	工藤元哉	隈部敏郎	黒木宏子	桑原新一
高栢智彰	古賀信行	小城和正	紺野晃則	財津昭憲	酒井伸一郎	坂井毅
坂本隆太郎	櫻井利雄	佐藤仁宣	佐藤秀樹	鮫島由規則	澤田樹徳	重信和男
品田義雄	白土宏之	菅野剛造	鈴木正英	園田勝男	大尾俊博	高木鉄平
高木学	高橋智	田上桂作	竹田和義	武田敏文	田坂一朗	田中俊博
田中宏明	谷山啓一	田原浩	玉木康博	津田俊二	出口亨	寺田道雄
徳勝礼子	徳盛誠	富山洋	鳥越重二	中井洋	中江次郎	中川原譲
永田洋二	中富清和	中西徹明	中野伸也	中原善朗	中村勝洋	中村誠洋
中村知史	成田昭浩	西立野研二	新田荘作	根本浩一郎	蜂須賀一寿	浜崎和朗
原口和貴	針間博彦	春本常雄	姫野信吉	平川憲生	平澤博之	深江方次
福岡一郎	藤井晶衛	藤瀬裕司	藤津史朗	古川貴久	宝来一徳	堀切尚
牧本三夫	松井謙明	松岡英亮	松崎潤一	松下洋一郎	松田俊司	松田孝
三浦聡雄	水間信寿	道岡伸一郎	満岡渉	三宅信弘	宮下幸一朗	村野一郎
元木昭秀	本寺明子	本寺大志	本山嘉正	森荘太郎	森俊雅	矢野譲
山下達治	山村延郎	山元正博	吉井満寛	吉田昌之	吉永和久	芳山達郎
米澤大	脇田立郎	和田豊郁	匿名希望2名			

☆匿名希望2名の方を含め145名の方からご寄付をいただきました。

☆中村誠洋様、本寺大志様のご冥福をお祈りいたします。



ラ・サール本部から届いたクリスマスカード

ホームページ



YouTube



<編集後記>

- 2025年度のご支援、誠に有難うございます。寄附金控除に係る証明書を1月に発送しておりますのでご確認下さい。また、届いていない場合には事務局までご連絡下さい。
- 今年も厳しい寒さが続いています。体調にお気を付けてください。私事ですが今年は後期高齢者の仲間入りをします。体力の衰えを感じながらも趣味のコースや、もはや生存確認とも言うべきゴルフ仲間とのひと時を楽しんでおります。諸先輩の元気な姿勢に触れるにつけ頭の下がる思いです。
- SCOLAの広報活動は、この機関誌とYouTubeでの動画配信で行っています。またパンフレットも用意していますのでご希望の方はご連絡下さい。活動に関してのアイデア、ご意見などもぜひお聞かせください。（理事・事務局長 紺野晃則）メール：scola@ls-scola.jp